

日本ボストン会会報

発行所 日本ボストン会事務局 ㊟227-0045横浜市青葉区若草台8-28 Fax045-962-0866

われわれの手で名古屋ボストン美術館を支えよう!

Let us support the Nagoya/Boston Museum of Fine Arts!

顧問 藤崎 博也

7月16日の朝日新聞東京版の夕刊で、「名古屋ボストン美術館、財政難で09年閉館」の記事に驚いたのは、私だけでなかったと思います。

同館は世界でも屈指の東洋美術のコレクションを持つボストン美術館の姉妹館として、1999年に開館してからまだ5年目ですが、毎年2回の企画展を催しており、本会でも有志のグループがこれまで3回の鑑賞旅行を行っています。

私は日本とボストンの間の重要な絆の一つともいえるボストン美術館の歴史を顧みて、「何とかしなければ」という強い思いに駆られ、その翌日に行われた『ボストン・ポップスの夕べ』で、一部の方々にお話ししましたところ、会報を通じて皆様に訴えるように仰せつかりました。

何分にも新聞記事だけでは情報不足なので、その後同館を訪れて広報部の方から詳しい事情を聞き、さらに後日、現館長の山口静一先生からもお話を伺いました。かいつまんでいえば、この件はマスコミが誇張したこと、2009年に閉館を決めたわけではなく、その後も継続するように努力していること、そのために解決すべき問題は多いが、外部の方々の協力をお願いしたいのは、歴史的にも内容的にもユ

ニークな名古屋ボストン美術館の存在を広く周知させ、年間の入場者数を開館当初なみに増やすことであり、それによって同館の存在感が高められ、一般社会・財界の理解・支持も得やすくなる、ということです。

ちなみに、開館した年の入場者は70万人でしたが、その後は30万人前後に留まっているようです。

そこで私が考えましたのは、この美術館から、本会をはじめボストン美術館に親近感を抱いている会員の多い団体に対して、その存在をアピールし、企画展などに関する情報をこまめに送ってもらうことでした。皆様から、ご交友関係を通じてお力添えいただければさらに効果的です。

なお同館のホーム・ページに申し込みば無料で毎月新しい情報をメールで送ってくれます。また、別項でご紹介がありますが、現在の企画展のテーマは『ボストンに愛された印象派』で、多数の名画が系統的に展示され、中にはこれまで鑑賞の機会が少なかった隠れた名画もあります。期間は11月9日までですが、機会を作り、ぜひ鑑賞されるようにお勧めします。問合せ先 ☎ 052-684-0101
ホーム・ページ <http://www.nagoya-boston.or.jp>

総会・懇親会のお知らせ (同封ちらし参照)

日時: 平成15年11月14日(金) 午後6時開場、午後6時半開会。
場所: NEC三田ハウス芝クラブ(JR田町駅、都営地下鉄三田駅下車)
港区芝5-21-7、☎03-5443-1400
出席者: 当日払い お一人 6000円/同伴者 5000円
事前送金 お一人 5000円/同伴者 5000円
送金方法: 銀行送金 みずほ銀行浜松町支店シーバンス出張所
普通預金口座番号 1578981 口座名 「日本ボストン会」
申込み先: 日本ボストン会事務局 (同封葉書、又はE-mailにて10月31日まで
にお知らせ下さい E-mail: boston@cronos.ocn.ne.jp)
日本ボストン会の活動はホームページでご覧下さい。 <http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~boston/>